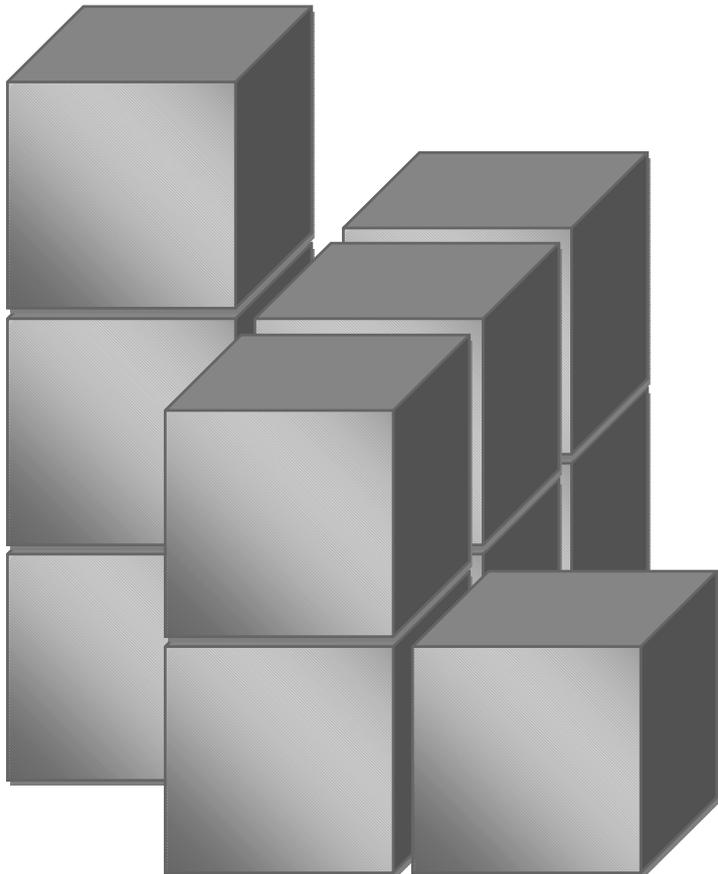


# 平成25年度 入学者選抜要項



YOKOHAMA  
CITY  
UNIVERSITY  
横浜市立大学

## 横浜市立大学 アドミッションポリシー

### ◆ 本大学の使命と3つの理念

国際都市・横浜にふさわしい国際性、創造性および倫理観を有し、高い志をもった人間を育成します。このため、学術の中心となり、卓越した知的資源を創出し、地域社会はもとより広く世界をも視野に入れ貢献するとともに、国際社会に通用する大学となります。

- 1 学習成果を最大限に引き出し、自ら課題を見つけ探求する姿勢と様々な問題を解決する能力が備わった人間の育成に努めます
- 2 学生のキャリア形成に主眼を置いた様々な支援プログラムを提供し、国際社会で通用する人間の育成に努めます
- 3 横浜市が有する意義ある大学として、人材育成、産学連携、市民医療など地域への貢献を推し進めます

### ◆ 求める学生像、望ましい資質

#### 横浜市立大学が求める学生像

横浜市立大学では、学部・学科・学系によらず、次のような人を求めます。

- 既成の枠組みや慣行にとどまらず、自由で創造的な姿勢で真理を探究する人
- 課題意識を持って、自らの人生を生き抜く強い意志力を備えた人
- 地域社会のみならず、広く人類社会に貢献する意欲を持つ人

#### 望ましい資質

#### 国際総合科学部

##### 国際総合科学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 人間と自文化・異文化についての旺盛な好奇心を持つ人
- 外国語への関心を持ち文化交流や情報発信に積極的な人
- 社会や文化について深く考え追求できる人
- まちを歩くのが好きで社会の動きや流行に敏感な人
- 新しいことにチャレンジしてあきらめない人
- 枠におさまらずにいろいろなことに興味を持つ人
- 経済・社会問題など社会科学の話題に興味を持つ人
- 企業経営や市場、政策、地域に対する旺盛な好奇心を持つ人
- 多様な観点から経済社会の問題に取り組む意欲を持つ人
- 自然科学に対する強い関心と探求心がある人
- 実験し発見することに喜びを感じられる人
- 自然科学を発展させる意欲にあふれる人

#### 医学部

##### 医学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- 思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- 柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人
- 自ら問題を発見し、解決するための学習意欲を有する人
- 医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- 自ら生活習慣を改善し、健康増進に取り組む意欲を有する人
- 医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人

##### 看護学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 生命と個人の尊厳を尊ぶ姿勢のある人
- 高い責任感・使命感・倫理観を有する人
- 向学心を有する人
- 看護実践者として社会に貢献する意欲のある人
- 将来、看護実践における問題や課題に着目し、解決することへの学習意欲のある人

## ◆ 一般選抜入学試験で求められること

### 国際総合科学部

総合的な基礎学力を評価する大学入試センター試験(第1次試験)と、外国語能力や志望分野についての問題意識、理解力、論理的思考能力などを評価する個別学力検査(第2次試験)により選抜します。

**国際教養学系**の第2次試験は、英語と小論文の試験により行います。小論文では、現代世界の社会・文化問題に知識と関心を持っているか、複雑な社会・文化現象に対する分析力と理解力を持っているかを評価します。

**国際都市学系**の第2次試験は、英語と小論文の試験により行います。小論文では、国際社会や都市に関心を持ち、現代的な課題や問題に気づいたり理解する力を持っているかを評価します。

**経営科学系**の第2次試験は、英語と小論文の試験により行います。小論文では、社会現象に対する理解力や思考力、および社会科学に関する総合的な能力を持っているかを多角的に評価します。

**理学系**の第2次試験は、英語、理科、数学の試験により行います。理科と数学の試験では、物理・化学・生物学・数学の基礎をよく理解し、自然現象や科学技術などを基本に根ざした視点でとらえる力があるかを評価します。

### 医学部

基礎学力を評価する大学入試センター試験(第1次試験)と、個別学力検査(第2次試験)により選抜します。

**医学科**の2次学科試験においては自然科学(理科)、外国語(英語)、数学を課し、いずれの分野においても基礎をよく理解しているかどうか、また小論文と面接においてはものの考え方やコミュニケーション能力を評価します。

**看護学科**の第2次試験においては保健医療・福祉の分野に関わる問題・課題についての基本的な知識や自己の見解などを論理的に表現できる力を評価します。

## ◆ 多様な入試制度で求められること

### 国際総合科学部

#### 国際教養学系 / 国際都市学系 / 経営科学系 / 理学系

#### 推薦入試【指定校制】

本学への入学実績に基づき本学国際総合科学部が指定する高等学校の在籍者を対象として、在籍中の英語を含めた幅広い基礎学力が備わっているかを評価する書類選考と面接により評価します。

#### 推薦入試【公募制】

本学を第1志望とし、出身学校長の推薦を受け、大学入試センター試験において本学の指定する教科・科目のすべてを受験した人を対象に実施します。卒業見込の人に加え前年3月に卒業した人も出願できます。書類選考とセンター試験の成績によって評価します。

#### A O入試

高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。関心ある分野における積極的な活動やそれに対する自己評価、入学後の目標を記した書類および高等学校の調査書(またはそれに代わる書類)、英語外部試験の成績の提出が必要です。1次の書類選考合格者には2次試験として書類内容に即したプレゼンテーションを課し、総合判定します。

#### 海外帰国生入試

外国の高等学校で学んだ邦人を対象に実施します。英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。日本とは異なる教育制度の元で修得した学科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価するため、筆記試験および面接を課し、評価します。

#### 外国人留学生入試

日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験および英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。また日本語能力および思考力や基礎学力について、筆記試験および面接により評価します。

#### 社会人入試

大学入学資格を持ち、満25歳以上の人を対象として実施します。英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。選抜においては、筆記試験および面接を課し、評価します。

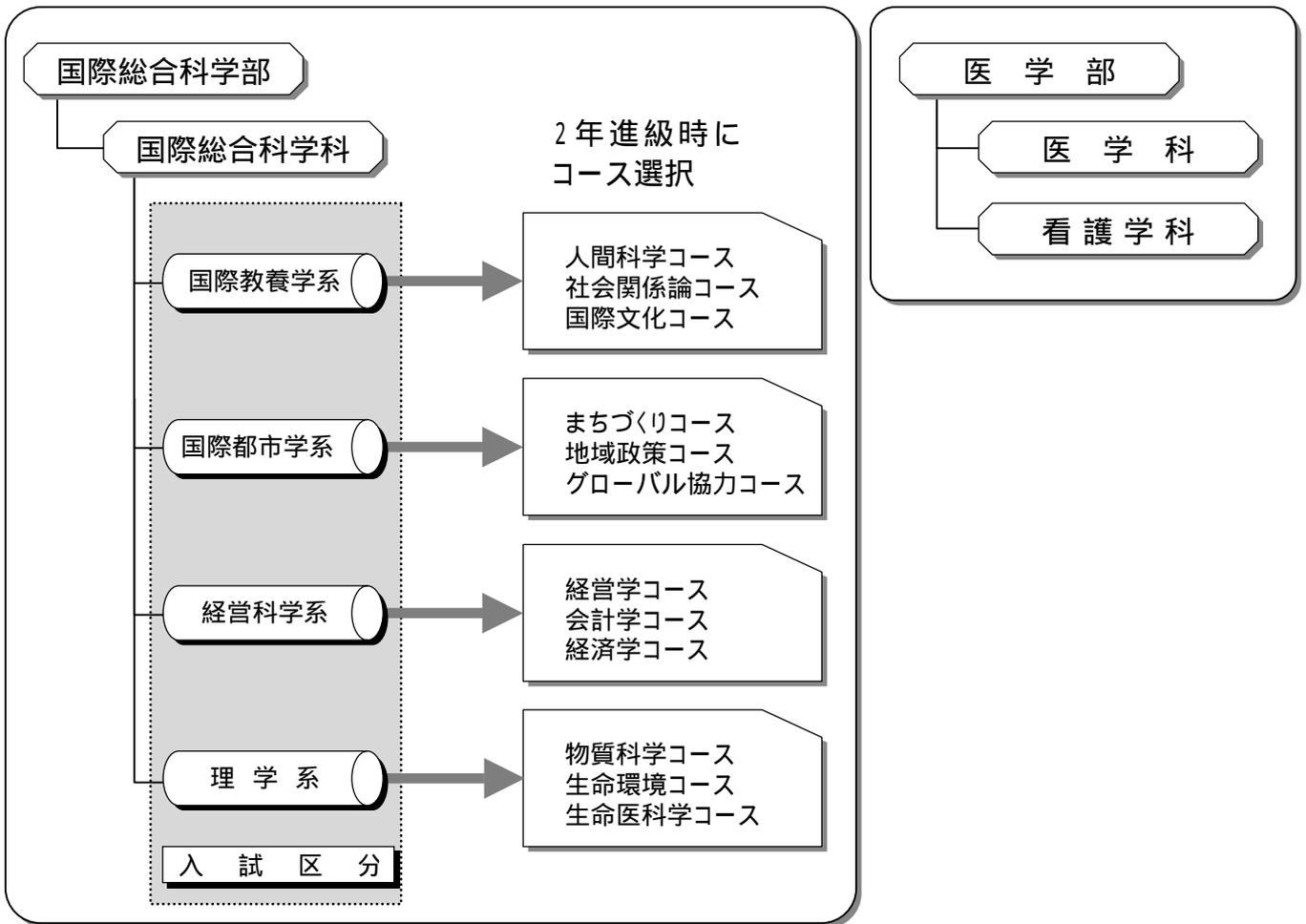
### 医学部

#### 看護学科

#### 推薦入試【指定校制】

本看護学科が指定する高等学校の在籍者を対象として、在籍中の書類選考と面接により評価します。卒業後は横浜市内を中心とした地域医療へ積極的に貢献できる人の入学を期待する制度です。

## 学部構成



## 2013(平成25)年度入試制度・募集人員

		一般選抜		特別選抜					
		一般選抜 (前期日程)	推薦入試 (指定校制)	推薦入試 (公募制)	AO入試	海外帰国生 入試	外国人留学生 入試	社会人入試	
国際総合科学部	国際教養学系	85名 (A方式 55名 B方式 30名)	30名	10名	15名	若干名	若干名	若干名	140名
	国際都市学系	75名 (A方式 50名 B方式 25名)	25名	5名	15名	若干名	若干名	若干名	120名
	経営科学系	180名 (A方式 120名 B方式 60名)	50名	10名	10名	若干名	若干名	若干名	250名
	理学系	80名 (A方式 50名 B方式 30名)	42名	10名	8名	若干名	若干名	若干名	140名
	計	420名	147名	35名	48名	若干名	若干名	若干名	650名
医学部	医学科	90名							90名
	看護学科	70名	30名						100名
	計	160名	30名						190名
合計	580名	177名	35名	48名	若干名	若干名	若干名	840名	

2013(平成25)年度 入試日程・概要

一般選抜

一般選抜の詳細につきましては20頁～31頁を確認してください。

区分	学部	学系・学科	方式	募集人員	入試日程				選抜方法 【上段:大学入試センター試験配点 / 下段:個別学力検査(第2次試験)配点】												
					出願期間	試験日	合格発表日	入学手続き日	国語	歴公	数学	理科	外国語	論文	小論文	面接	計	総計	備考(教科・科目等)		
〔前期日程〕	国際総合科学部	国際教養学系	A	55		平成25年 2月25日(月)			200	200	200	100	300					1,000	1,500	5(6)教科7科目	
			B	30																500	
		国際都市学系	A	50		平成25年 2月25日(月)			200	200	200	100	300						1,000	1,500	5(6)教科7科目
			B	25														500			
		経営科学系	A	120		平成25年 1月28日(月) ～2月6日(水) 【郵送必着】	平成25年 2月25日(月)	平成25年 3月8日(金)	平成25年 3月13日(水) 3月14日(木)	200	200	200	100	300					1,000	1,500	5(6)教科7科目
			B	60															500		
		理学系	A	50		平成25年 2月25日(月)				200	100	200	200	300					1,000	1,800	5教科7科目
			B	30															800		
		医学部	医学科	A	90		平成25年 2月25日(月) 2月26日(火)			200	100	200	200	300					1,000	2,200	5教科7科目
				B						70									1,200		
		看護学科	看護学科	A	70		平成25年 2月25日(月)			200	100	(100) (200)	(200) (100)	300					900	1,200	5教科6科目
				B															300		

入試日程・概要

入試日程・概要

2013(平成25)年度 入試日程・概要

特別選抜

特別選抜の詳細につきましては32頁～43頁を確認してください。

区分	学部	学系・学科	募集人員	入試日程				選考方法	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】						
				出願期間	選考日	合格発表日	入学手続き日		科目等	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検		
推薦入試【指定校制】	国際総合科学部 医学部	国際教養学系	30	平成24年 11月1日(木) ～11月6日(火) 【郵送必着】	平成24年 11月23日(金・祝)	平成24年 12月4日(火)	平成24年 12月26日(水)	書類審査 および 面接	417点(35点)	400点	500点	準2級			
		国際都市学系	25						417点(35点)	400点	500点	準2級			
		経営科学系	50						要提出(スコア・級 不問)						
		理学系	42						必須ではないが、何らかのスコア・級を提出することが望ましい						
		看護学科	30						要提出(スコア・級 不問)						
AO入試	国際総合科学部	国際教養学系	15	平成24年 9月3日(月) ～9月5日(水) 【消印有効】	(1次) 書類審査 (2次) 10月13日(土)	(1次) 9月28日(金) (2次) 10月23日(火)	平成24年 11月2日(金)	(1次) 出願書類審査 (2次) 面接審査	460点(48点)	500点	600点	2級			
		国際都市学系	15						460点(48点)	500点	600点	2級			
		経営科学系	10						460点(48点)	500点	600点	2級			
		理学系	8						417点(35点)	400点	500点	準2級			
海外帰国生入試	国際総合科学部	国際教養学系	若干名	平成24年 9月10日(月) ～9月12日(水) 【消印有効】	平成24年 10月6日(土)	平成24年 10月23日(火)	平成24年 11月2日(金)	小論文 および 面接	500点(61点)	600点	700点	準1級			
		国際都市学系	若干名						500点(61点)	600点	700点	準1級			
		経営科学系	若干名						500点(61点)	600点	700点	準1級			
		理学系	若干名						460点(48点)	500点	600点	2級			
外国人留学生入試	国際総合科学部	国際教養学系	若干名	平成24年 9月10日(月) ～9月12日(水) 【消印有効】	平成24年 10月6日(土)	平成24年 10月23日(火)	平成24年 11月2日(金)	小論文 および 面接	500点(61点)	600点	700点	準1級			
		国際都市学系	若干名						500点(61点)	600点	700点	準1級			
		経営科学系	若干名						460点(48点)	500点	600点	2級			
		理学系	若干名						460点(48点)	500点	600点	2級			
社会人入試	国際総合科学部	国際教養学系	若干名	平成24年 9月10日(月) ～9月12日(水) 【消印有効】	平成24年 10月6日(土)	平成24年 10月23日(火)	平成24年 11月2日(金)	小論文 および 面接	500点(61点)	600点		準1級			
		国際都市学系	若干名						500点(61点)	600点		準1級			
		経営科学系	若干名						500点(61点)	600点		準1級			
		理学系	若干名						500点(61点)	600点		準1級			
区分	学部	学系	募集人員	入試日程				選考方法	大学入試センター試験配点						
				出願期間	選考日	合格発表日	入学手続き日	科目等	国語	歴公	数学	理科	外国語	計	備考 (教科・科目等)
推薦入試【公募制】	国際総合科学部	国際教養学系	10	平成25年 1月15日(火) ～1月25日(金) 【郵送必着】		平成25年 2月8日(金)	平成25年 2月15日(金)	大学入試センター試験成績 および 書類審査	200	200	200	100	300	1,000	5(6)教科7科目
		国際都市学系	5						200	200	200	100	300	1,000	5(6)教科7科目
		経営科学系	10						200	200	200	100	300	1,000	5(6)教科7科目
		理学系	10						200	100	200	200	300	1,000	5教科7科目

入試日程・概要

入試日程・概要



国際総合科学部

前年度まで

□ 推薦入試【指定校制】

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	417点 (35点)	400点	500点	準2級
経営科学系	要提出 (スコア・級不問)			
理学系	提出不要			

□ AO入試

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	460点 (48点)	500点	600点	2級
経営科学系	460点 (48点)	500点	600点	2級
理学系	417点 (35点)	400点	500点	準2級

□ 海外帰国生入試

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	500点 (61点)	600点	700点	準1級
経営科学系	500点 (61点)	600点	700点	準1級
理学系	460点 (48点)	500点	600点	2級

□ 外国人留学生入試

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	460点 (48点)	500点	600点	2級
経営科学系	460点 (48点)	500点	600点	2級
理学系	460点 (48点)	500点	600点	2級



2013(平成25)年度入試

□ 推薦入試【指定校制】

▶ 出願要件の追加・変更

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】				備考
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検	
国際教養学系	417点 (35点)	400点	500点	準2級	変更なし
国際都市学系	417点 (35点)	400点	500点	準2級	新規
経営科学系	要提出 (スコア・級不問)				変更なし
理学系	必須ではないが、何らかのスコア・級の提出が望ましい				変更

□ AO入試

▶ 出願要件の追加

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】				備考
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検	
国際教養学系	460点 (48点)	500点	600点	2級	変更なし
国際都市学系	460点 (48点)	500点	600点	2級	新規
経営科学系	460点 (48点)	500点	600点	2級	変更なし
理学系	417点 (35点)	400点	500点	準2級	変更なし

□ 海外帰国生入試

▶ 出願要件の追加

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】				備考
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検	
国際教養学系	500点 (61点)	600点	700点	準1級	変更なし
国際都市学系	500点 (61点)	600点	700点	準1級	新規
経営科学系	500点 (61点)	600点	700点	準1級	変更なし
理学系	460点 (48点)	500点	600点	2級	変更なし

□ 外国人留学生入試

▶ 出願要件の追加・変更

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】				備考
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検	
国際教養学系	500点 (61点)	600点	700点	準1級	変更
国際都市学系	500点 (61点)	600点	700点	準1級	新規
経営科学系	460点 (48点)	500点	600点	2級	変更なし
理学系	460点 (48点)	500点	600点	2級	変更なし

変更点

変更点

国際総合科学部

前年度まで

□ 社会人入試

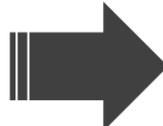
	英語資格 【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】		
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	英検
国際教養学系	500点 (61点)	600点	準1級
経営科学系	500点 (61点)	600点	準1級
理学系	500点 (61点)	600点	準1級

□ 一般選抜センター試験科目・配点

(国際教養学系・経営科学系)

➢ 3教科3科目型

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目 ( :必須 :選択)																	
3教科3科目 (700点)																	
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)							数学							
			世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学・数学 A	数学・数学 B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎
科目	英語 (リスニングを含む)	国語															
必要科目	1	(1)	(1)							(1)							
	必須		2科目受験者は、第1解答科目を採用							2科目受験者は、高得点科目を採用							
配点	300	(200)	(200)							(200)							



2013(平成25)年度入試

□ 社会人入試

➢ 出願要件の追加

	英語資格 【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			備考
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	英検	
国際教養学系	500点 (61点)	600点	準1級	変更なし
国際都市学系	500点 (61点)	600点	準1級	新規
経営科学系	500点 (61点)	600点	準1級	変更なし
理学系	500点 (61点)	600点	準1級	変更なし

□ 一般選抜センター試験科目・配点

(国際教養学系・国際都市学系・経営科学系)

➢ 5(6)教科7科目型【A方式】を新規導入し、3教科3科目型【B方式】との併用とします。

➢ 出願時において方式(A方式・B方式)の選択は必要はありません。

➢ A方式・B方式それぞれの定める大学入試センター試験科目を両方式とも満たしている場合、両方式の審査の対象となります。

➢ 合否判定は、方式ごとに合計得点の高い者から順に合格とする。ただし、両方式とも合格対象となった場合は、どちらか一方の方式の合格者として発表されます。

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目 ( :必須 :選択)																									
5(6)教科7科目 (1000点)																									
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)							数学				理科											
			世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学・数学 A	数学・数学 B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合 A	理科総合 B	物理	化学	生物	地学		
科目	英語 (リスニングを含む)	国語																							
必要科目	1	1	2							2				1											
	必須	必須												2科目受験者は、第1解答科目を採用											
配点	300	200	200							200				100											

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目 ( :必須 :選択)																	
3教科3科目 (700点)																	
教科	外国語	国語	地理歴史・公民							数学							
			世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学・数学 A	数学・数学 B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎
科目	英語 (リスニングを含む)	国語															
必要科目	1	(1)	(1)							(1)							
	必須		2科目受験者は、第1解答科目を採用							2科目受験者は、高得点科目を採用							
配点	300	(200)	(200)							(200)							

変更点

変更点

国際総合科学部

前年度まで

□ 一般選抜 センター試験科目・配点

(理学系)

➢ 3教科5科目型

大学入試センター試験で受験が必要な 教科・科目( :必須 :選択)					
3教科5科目(700点)					
教科	外国語	数学		理科	
科目	英語 (リスニングを含む)	数学 ・ 数学A	数学 ・ 数学B	物理	化学 ・ 生物
必要科目	1	2		2	
配点	300	200		200	

□ 一般選抜 2次試験科目・配点

(国際教養学系・経営科学系)

➢ 「論文」

論文	合計
300	300

(理学系)

➢ 「論文」(英語、数学、理科)

理科:物理・化学・生物 1科目

論文	合計
400	400

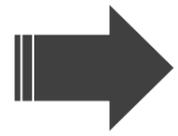
□ 一般選抜 配点比率

(国際教養学系・経営科学系)

区分	配点
センター試験	700
2次試験	300

(理学系)

区分	配点
センター試験	700
2次試験	400



2013(平成25)年度入試

□ 一般選抜 センター試験科目・配点

(理学系)

➢ 3教科5科目型を廃止し、5教科7科目型を新規導入します。

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目( :必須 :選択)																			
5教科7科目(1000点)																			
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)						数学		理科								
			世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学・数学A	数学・数学B	物理	化学	生物		
科目	英語 (リスニングを含む)	国語																	
必要科目	1	1	1						2		2								
	必須	必須	2科目受験者は、第1解答科目を採用						必須										
配点	300	200	100						200		200								

□ 一般選抜 2次試験科目・配点

(国際教養学系・国際都市学系・経営科学系)

➢ 「英語」+「小論文」(A方式・B方式 共通)

英語	小論文	合計
300	200	500

(理学系)

➢ 「英語」+「数学」+「理科」

理科:物理・化学・生物 1科目または2科目

理科2科目型【A方式】 「英語」+「数学」+「理科2科目」  
理科1科目型【B方式】 「英語」+「数学」+「理科1科目」

➢ 出願時に方式(A方式・B方式)を選択してください。

➢ 合否判定はA方式・B方式それぞれで合計得点の高い者から順に合格とします。

型	英語	数学	理科	合計
理科2科目型【A方式】	200	200	400	800
理科1科目型【B方式】	200	200	200	600

□ 一般選抜 配点比率

(国際教養学系・国際都市学系・経営科学系)

区分	センター試験5教科7科目型【A方式】	センター試験3教科3科目型【B方式】
センター試験	1000	700
2次試験	500	500

(理学系)

区分	2次試験理科2科目型【A方式】	2次試験理科1科目型【B方式】
センター試験	1000	1000
2次試験	800	600

変更点

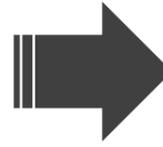
変更点

医学部 医学科

前年度まで

□ 一般選抜 センター試験科目・配点

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目 ( :必須 :選択)															
5教科7科目(900点)															
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)						数学		理科				
			世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学A	数学B	物理	化学	生物	地学
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学A	数学B	物理	化学	生物	地学
必要科目	1	1	1						2		2				
	必須	必須	2科目受験者は、第1解答科目を採用						必須		2科目選択				
配点	200	200	100						200		200				



2013(平成25)年度入試

□ 一般選抜 センター試験科目・配点

- 英語配点を変更します。(200点 300点)
- 理科において地学 を選択不可とします。(選択肢から除外)

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目 ( :必須 :選択)															
5教科7科目(1000点)															
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)						数学		理科				
			世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学A	数学B	物理	化学	生物	地学
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学A <td>数学B</td> <td>物理</td> <td>化学</td> <td>生物</td> <td>地学</td>	数学B	物理	化学	生物	地学
必要科目	1	1	1						2		2				
	必須	必須	2科目受験者は、第1解答科目を採用						必須		2科目選択				
配点	300	200	100						200		200				

□ 一般選抜 2次試験科目・配点

- 小論文の得点化を廃止します。(段階評価)

英語	数学	理科	小論文	面接	合計
400	400	400	*	*	1200

\*「小論文」「面接」は数段階で評価します。

□ 一般選抜 配点比率

区分	配点
センター試験	1000
2次試験	1200

□ 一般選抜 2次試験科目・配点

- 小論文100点

英語	数学	理科	小論文	面接	合計
400	400	400	100	*	1300

\*「面接」は数段階で評価します。

□ 一般選抜 配点比率

区分	配点
センター試験	900
2次試験	1300

医学部 看護学科

前年度まで

推薦入試【指定校制】

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
看護学科	提出不要			

一般選抜 センター試験科目・配点

4教科4科目型

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目( :必須 :選択)												
4教科4科目(500点)												
教科	外国語	国語	数学				理科					
			数学・数学A	数学・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理	化学	生物
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	数学・数学A	数学・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理	化学	生物
必要科目	1	1	1				1					
	必須	必須	2科目受験者は、高得点科目を採用				2科目受験者は、第1解答科目を採用					
配点	200	100	100				100					

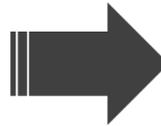
一般選抜 2次試験科目・配点

「論文」

論文	合計
250	250

一般選抜 配点比率

区分	配点
センター試験	500
2次試験	250



2013(平成25)年度入試

推薦入試【指定校制】

出願要件の追加・変更

	英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
看護学科	要提出(スコア・級不問)			

一般選抜 センター試験科目・配点

4教科4科目型を廃止し、5教科6科目型を新規導入します。

(英語・国語・歴公1科目・数学1または2科目・理科1または2科目)

- 地歴公民を新規追加 (1科目選択)
- 数学の選択肢を限定 (工業数理基礎・簿記会計・情報関係基礎を選択不可とする)
- 理科は生物を必須とし、理科総合A・Bを選択不可とします
- 理科は生物を第1解答科目と指定し、それ以外は失格とします
- 数学 A、数学 B、理科 (物理・化学のうち1科目) から2科目選択とします
- 英語の配点を変更(200点 300点)
- 国語の配点を変更(100点 200点 素点のまま採用)

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目( :必須 :選択)																			
5教科6科目(900点)																			
教科	外国語	国語	地理歴史・公民					数学			理科								
			世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学・数学A	数学・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理	化学	生物
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学・数学A	数学・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理	化学	生物
必要科目	1	1	1					1or2			0or1			1					
	必須	必須	2科目受験者は、第1解答科目を採用					最大2科目受験			最大1科目受験			必須					
配点	300	200	100					100 or 200			0 or 100			100					

一般選抜 2次試験科目・配点

「論文」

論文の配点を変更(250点 300点)

論文	合計
300	300

一般選抜 配点比率

区分	配点
センター試験	900
2次試験	300

変更点

変更点

一般選抜

前期日程

募集人員

〔国公立大学前期日程試験のみ実施します。後期日程試験は実施しません。〕 (単位：人)

学 部	学 科 ・ 学 系		募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	A方式 55 B方式 30
		国際都市学系	A方式 50 B方式 25
		経営科学系	A方式 120 B方式 60
		理 学 系	A方式 50 B方式 30
		計	420
医 学 部	医 学 科		90
	看 護 学 科		70
	計		160
合 計			580

医学部医学科募集人員の内訳

一般枠 60人、地域医療枠 25人、神奈川県指定診療科枠 5人を合わせた人数

(3つの枠の内容については、28頁～30頁参照)

日 程

出願期間【郵送必着】

平成 25 年  
1 月 28 日(月) ~ 2 月 6 日(水)

個別学力検査(第2次試験)実施日

合格発表日

入学手続日

国際総合科学部 国際総合科学科	国際教養学系	平成 25 年 2 月 25 日(月)	平成 25 年 3 月 8 日(金)	平成 25 年 3 月 13 日(水) 3 月 14 日(木)
	国際都市学系	平成 25 年 2 月 25 日(月)		
	経営科学系	平成 25 年 2 月 25 日(月)		
	理 学 系	平成 25 年 2 月 25 日(月)		

個別学力検査(第2次試験)実施日		合格発表日	入学手続日
医学部	医学科	平成25年 2月25日(月) 2月26日(火)	平成25年 3月8日(金)  平成25年 3月13日(水) 3月14日(木)
	看護学科	平成25年 2月25日(月)	

医学部医学科の試験実施教科等

2月25日

理科/外国語/数学

2月26日

小論文/面接

## 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

## 出願資格

平成25年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目をすべて受験した者として。  
(22頁~31頁の「大学入試センター試験の指定教科・科目等」を参照)

本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があることを認定する個別の入学資格審査を希望する者は、平成24年9月10日(月)までに横浜市立大学アドミッションズセンターへ申し出てください。

### 《特別措置》

身体に障害を有しており受験および修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、あらかじめ本学と事前相談を行い、その事前相談結果を出願書類に添付する必要があります。該当者は、本学アドミッションズセンター(入学試験事務室)より事前相談申請書の交付を受け、この申請書に身体障害の内容・程度等を証明する書類、その他本学が指示する書類等を添えて、平成25年1月10日(木)までに申請してください。

## 選抜方法

### 第1次選抜〔医学部医学科のみ〕

入学志願者が次に掲げる倍率を超えた場合、平成25年度大学入試センター試験の成績および調査書等により、第1次選抜を行います。

学部	学科	倍率(人数)
医学部	医学科	約3.3倍(297人程度)

### 最終合格者の決定

大学入試センター試験の成績、個別学力検査(第2次試験)の成績、調査書等を総合的に判断し、各学科・学系で定める合否判定基準に従い、最終合格者を決定します。

国際総合科学部

□ 募集人員

(単位：人)

学 系	募集人員		
	A 方式	B 方式	計
国際教養学系	55	30	85
国際都市学系	50	25	75
経営科学系	120	60	180
理 学 系	50	30	80

□ 大学入試センター試験の指定教科・科目

国際教養学系・国際都市学系・経営科学系

方 式	教 科	科 目	教科科目数	摘 要
A 方式	国 語	『国語』(古文・漢文含む)(必須)	5(6)教科 7 科目	理科で2科目を受験した場合は第1解答科目の成績を採用します。
	地 歴 公 民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』から2科目		
	数 学	『数学・数学A』(必須)		
		『数学・数学B』『工業数理基礎』 『簿記・会計』『情報関係基礎』 から1科目		
	理 科	「理科総合A」「理科総合B」「物理」 「化学」「生物」「地学」 から1科目		
外国語	『英語』(リスニングを含む)(必須)			
B 方式	国 語	『国語』(古文・漢文含む)	3 教科 3 科目	1. 外国語に加えて、国語、地歴・公民、数学のうち2教科を受験してください。 2. 国語、地歴・公民、数学の3教科を受験した場合は、高得点の2教科の成績を採用します。 3. 数学で2科目を受験した場合は、高得点の1科目の成績を採用の対象としません。 4. 地歴・公民で2科目を受験した場合は第1解答科目の成績を採用の対象とします。
	地 歴 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 『倫理, 政治・経済』から1科目		
	数 学	『数学・数学A』『数学・数学B』 『工業数理基礎』『簿記・会計』 『情報関係基礎』から1科目		
	外国語	『英語』(リスニングを含む)(必須)		

(注)『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

理学系

方式	教科	科目	教科科目数	摘要
A方式 B方式	国語	『国語』(古文・漢文含む)(必須)	5教科 7科目	地歴公民で2科目を受験した場合は第1解答科目の成績を採用します。
	地歴公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 『倫理,政治・経済』から1科目		
	数学	『数学・数学A』と 『数学・数学B』の2科目(必須)		
	理科	「物理」「化学」「生物」 から2科目		
	外国語	『英語』(リスニングを含む)(必須)		

(注)『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

□ 個別学力検査(第2次試験)の出題科目

国際教養学系・国際都市学系・経営科学系

A方式・B方式共通

学系	科目	時間	備考
国際教養学系	英語	90分	『英語・英語・リーディング・ライティング』
	小論文	60分	人文科学・社会科学分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。
国際都市学系	英語	90分	『英語・英語・リーディング・ライティング』
	小論文	60分	人文科学・社会科学分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します
経営科学系	英語	60分	『英語・英語・リーディング・ライティング』
	小論文	60分	社会科学分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。

(注)すべての科目を受験していない場合は、審査の対象になりません。

理学系

方式	科目	時間	備 考
A方式	英 語	60分	『英語 ・英語 ・リーディング・ライティング』（必須）
	数 学	60分	『数学 ・数学 ・数学 ・数学A・数学B・数学C』（必須）
	理 科	120分	『物理 ・物理 』、 『化学 ・化学 』、 『生物 ・生物 』 から2科目選択
B方式	英 語	60分	『英語 ・英語 ・リーディング・ライティング』（必須）
	数 学	60分	『数学 ・数学 ・数学 ・数学A・数学B・数学C』（必須）
	理 科	60分	『物理 ・物理 』、 『化学 ・化学 』、 『生物 ・生物 』 から1科目選択

(注1) 数学B・Cの出題範囲は、数列、ベクトル、行列とその応用、式と曲線です。

(注2) 物理 の出題範囲は、力と運動、電気と磁気、原子・分子の運動です。

(注3) 化学 の出題範囲は全範囲です。

(注4) 生物 の出題範囲は全範囲です。

(注5) 必須科目および選択科目のすべてを受験していない場合は、審査の対象になりません。

□ 出願に際しての留意点

国際教養学系・国際都市学系・経営科学系

出願時において方式（A方式・B方式）の選択は必要ありません。

理学系

出願時に方式（A方式・B方式）を選択してください。

□ 配点・審査基準および合否判定基準

最終合否判定

国際教養学系・国際都市学系・経営科学系

次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計得点を審査基準とします。

A方式・B方式それぞれの定める大学入試センター試験科目を両方式とも満たしている場合、両方式の審査の対象となります。

合否判定は、方式ごとに合計得点の高い者から順に合格とします。ただし、両方式とも合格対象となった場合は、どちらか一方の方式の合格者として発表されます。

A方式

試験区分 \ 教科	国語 [200]	地歴・公民 [100] + [100]	数学 [100] + [100]	理科 [100]	外国語 [250]	小論文	合計点
大学入試センター試験	200	200	200	100	300		1,000
個別学力検査 (第2次試験)					300	200	500
合計	200	200	200	100	600	200	1,500

(注1) 教科の[ ]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 大学入試センター試験配点換算方法

外国語(英語): [筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2倍 = 300点

B方式

試験区分 \ 教科	国語 [200]	地歴・公民 [100]	数学 [100]	外国語 [250]	小論文	合計点
大学入試センター試験	(200)	(200)	(200)	300		700
個別学力検査(第2次試験)				300	200	500
合計	400 得点の高い2教科または受験した2教科を採用 地歴・公民2科目受験者は第1解答科目を対象とする			600	200	1,200

(注1) 教科の[ ]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 大学入試センター試験配点換算方法

地歴・公民 : 100点満点 × 2倍 = 200点

数学 : 100点満点 × 2倍 = 200点

外国語(英語): [筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2倍 = 300点

理学系

次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計得点を審査基準とします。

合否判定はA方式・B方式それぞれで合計得点の高い者から順に合格とします。

A方式

試験区分 \ 教科	国語 [200]	地歴・公民 [100]	数学 [100] + [100]	理科 [100] + [100]	外国語 [250]	合計点
大学入試センター試験	200	100	200	200	300	1,000
個別学力検査(第2次試験)			200	400 (200+200)	200	800
合計	200	100	400	600	500	1,800

(注1) 教科の[ ]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 大学入試センター試験配点換算方法

外国語(英語): [筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2倍 = 300点

B方式

試験区分 \ 教科	国語 [200]	地歴・公民 [100]	数学 [100] + [100]	理科 [100] + [100]	外国語 [250]	合計点
大学入試センター試験	200	100	200	200	300	1,000
個別学力検査(第2次試験)			200	200	200	600
合計	200	100	400	400	500	1,600

(注1) 教科の[ ]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 大学入試センター試験配点換算方法

外国語(英語): [筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2倍 = 300点

## 医学部 医学科

## □ 募集人員

(単位：人)

学 科	募 集 枠	募 集 人 員	
医 学 科	(1) 一般枠	60	90
	(2) 地域医療枠	25	
	(3) 神奈川県指定診療科枠	5	

※ いずれの募集枠についても、出身地および出身高等学校所在地による出願制限はありません。

## □ 大学入試センター試験の指定教科・科目等

教 科	科 目	教科科目数	摘 要
国 語	『国語』(古文・漢文含む)(必須)	5 教科 7 科目	地歴・公民で2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用します。
地 歴 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理, 政治・経済』から1科目		
数 学	『数学・数学A』と『数学・数学B』の2科目(必須)		
理 科	「物理」「化学」「生物」から2科目		
外国語	『英語』(リスニングを含む)(必須)		

(注)『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

## □ 個別学力検査(第2次試験)の出題科目等

教科等	科目・内容等	時 間
数 学	『数学・数学・数学・数学A・数学B・数学C』(必須)	120分
理 科	『物理・物理』、『化学・化学』、『生物・生物』から2科目選択	180分
外国語	『英語・英語・リーディング・ライティング』(必須)	90分
小論文	与えられたテーマについて、1,000字程度で論述する。論理的思考力、記述力などを評価します。(必須)	60分
面 接	医学を志す動機、医学・医療に対する適性、意欲、社会的適応力などを総合的に評価します。(必須)	

(注1) 数学B・Cの出題範囲は、数列、ベクトル、行列とその応用、式と曲線です。

(注2) 物理の出題範囲は、力と運動、電気と磁気、原子・分子の運動です。

(注3) 化学の出題範囲は全範囲です。

(注4) 生物の出題範囲は全範囲です。

(注5) 必須科目および選択科目のすべてを受験していない場合は、審査の対象になりません。

□ 配点・審査基準および合否判定基準

**第1次選抜** [入学志願者が本学の定める倍率を超えた場合のみ実施 (21頁参照)]

次表の大学入試センター試験の配点の合計点を審査基準とします。  
合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

**最終合否判定**

次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点および小論文・面接評価を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い者から順に、第1志望枠から優先して合格とします(募集枠については、「募集枠について」をご覧ください)。第2志望枠または第3志望枠まで志望した受験生は、第1志望枠で合格とならなかった場合、第2志望枠または第3志望枠での合格の可能性があります。ただし、「地域医療枠」および「神奈川県指定診療科枠」については、応募・選考状況によっては、合格発表数が募集人員に満たない場合があります。どの募集枠で合格となったかについては、合格発表時に郵送する合格通知書に記載します。

小論文または面接評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

教科 試験区分	国語 [200]	地歴・公民 [100]	数学 [100]+[100]	理科 [100]+[100]	外国語 [250]	小論文	面接	合計点
大学入試 センター試験	200	100	200	200	300			1,000
個別学力検査 (第2次試験)			400	400	400	*	*	1,200
合計	200	100	600	600	700	*	*	2,200

\* 『小論文』『面接』は数段階で評価します。

(注1)教科の[ ]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2)大学入試センター試験配点換算方法

外国語(英語):[筆記(200点満点)+リスニング(50点満点)]×1.2倍=300点

□ 募集枠について(「一般枠」/「地域医療枠」/「神奈川県指定診療科枠」)

医学部医学科には、3種類の募集枠があります。顕在化している医師不足に対して県内で医学部を有する唯一の公立大学として、地域医療機関における医師確保の安定化に寄与することを目的に、(2)の地域医療枠は、神奈川県内の地域医療に従事する医師を養成するため、(3)の神奈川県指定診療科枠は、神奈川県内で特に不足する4つの診療科(産科・小児科・麻酔科・外科)に従事する医師を養成するため、設置されています。いずれの募集枠も、出願者の出身地および出身高等学校所在地による制限はありません。また、入学後6年間の医学科教育カリキュラムもほぼ同一です(詳細は次頁以降に記載の説明文を参照してください)。3枠への併願、3枠のうち2枠への併願、または1枠への専願のいずれかの方法で出願することができます。複数枠に出願する場合は、志望順位をつけて出願します。(2)(3)の募集枠については、出身高等学校(中等教育学校を含む)からの「推薦書」および本人記載による「誓約書」の提出が必要となります。

(1) **一般枠** (募集人員 60 人)

従来の前期日程として募集してきた枠で、入学後6年間の医学科教育カリキュラムを履修します。

▼卒業後研修プログラムのモデルケース (一般枠)

6 年間	2 年間	3 年間
医学科 教育	初期研修 修了半年ほど前に専門医研 修の研修先病院を決定	専門医研修

(2) **地域医療枠** (募集人員 25 人)

神奈川県地域医療枠 (募集人員 20 人) 市大地域医療枠 (募集人員 5 人)

地域医療枠は とも同じ条件で募集を行います。従って出願・合否判定に際しては同じ扱いとなります。また、入学後のカリキュラムについても以下の通り同じとなります。

入学後、6年間の医学科教育カリキュラム(一般枠・神奈川県指定診療科枠と共通)を履修し、卒業後は2年間の初期研修を受けます。その後、3年間の専門医研修を経て、将来、地域医療の指導的・中核的役割を担えるよう4年間の地域医療実践コースによる一貫プログラムの教育を受けます。

この枠の志願者は、出願時に地域医療枠用「誓約書」および出身高等学校からの「推薦書」を提出していただきます。

▼卒業後研修プログラムの流れ (地域医療枠)

6 年間	2 年間	3 年間	4 年間
医学科 教育	初期研修 修了半年ほど前に専門医研 修の研修先病院を決定	専門医研修	地域医療実践コース
		本学附属病院をはじめ、神奈川県内の医療機関より 勤務先を決定	

(3) **神奈川県指定診療科枠** (募集人員 5 人)

将来、産科(産科の診療を行う産婦人科を含む)、小児科、麻酔科および外科のうち、神奈川県が学部5年次終了時に指定する診療科の医療に、初期研修修了後従事することを目的とした募集枠です。従事する診療科は、5年次終了時に県内医療の状況、学生本人の特性(希望、能力、適性)、大学の意見を総合的に勘案して、産科、小児科、麻酔科、外科の中から知事が指定します。

なお、この枠では学部1年次~6年次の6年間、神奈川県から本学の学費および生活費相当額の修学資金の貸付を受けることが条件となります。借り受けた修学資金については、本学を卒業し、初期研修修了後に9年間(本学在学期間である6年間の1.5倍の期間)を神奈川県内における医療機関において、知事が指定した診療科の医療に従事することで返還の義務は免除されます。

入学後のカリキュラムについては、6年間の医学科教育カリキュラム（一般枠・地域医療枠と共通）を履修し、6年次においては、診療参加型臨床実習などで、指定する診療科に重点を置いた教育プログラムを受けます。卒業後は2年間の初期研修修了後、3年間の専門医研修を経て、将来、地域における産科周産期等医療を担う指導的・中核的役割を担えるよう6年間の地域医療実践コースによる一貫プログラムの教育を受けます。

なお、初期研修修了時に勤務する病院は、神奈川県医療対策協議会において協議の上、県内医療機関の中から知事が指定します。

この指定する病院は、医師が不足している地域における中核的、かつ、勤務体制の整っている病院を想定しており、指定診療科の指導の下で勤務していただきます（県立病院に限るものではありません）。また、指定後は9年間同一の指定病院に勤務するとは限らず、県内医療の状況を見ながら、いくつかの病院に勤務していただく場合もあります。

この枠の志願者は、出願時に指定診療科枠用「誓約書」および出身高等学校からの「推薦書」を提出していただきます。

▼卒業後研修プログラムの流れ（神奈川県指定診療科枠）

6年間	2年間	3年間	6年間
医学科教育 神奈川県より 修学資金を貸与 5年次終了時に 診療科を指定	初期研修 修了半年ほど 前に専門医研修 の研修先病院を 決定	専門医研修	地域医療実践コース
		9年間、指定診療科で診療に携わった場合、修学資金の返還義務は免除	
		産科、小児科、麻酔科、外科より学部5年次終了時に診療科を指定 本学附属病院をはじめ、神奈川県内の医療機関より勤務先を決定	

《神奈川県指定診療科枠に関する補足事項》

次のような場合には、修学資金の貸付を停止します。

- 大学を退学、または退学させられたとき。
- 修学生であることを辞退したとき。
- 心身の故障のため、大学を卒業する見込みがなくなると認められるとき。
- 学業成績や品行が著しく不良となったとき。
- 虚偽その他不正な方法により、修学資金を受けたことが明らかになったとき。
- その他修学資金の貸付の目的を達成する見込みがなくなると認められるとき。

修学資金返還免除のために必要な勤務期間9年間のうち、妊娠・出産・育児、その他、県がやむを得ないと認める事由により医療業務に従事できない期間は、この9年間には含まれません。

初期研修修了後、9年間の間に、専門医研修等を行いながら大学院教育を受けることも可能です。

医学部 看護学科

□ 募集人員

(単位：人)

学 科	募集人員
看護学科	70

□ 大学入試センター試験の指定教科・科目等

教 科	科 目	教科科目数	摘 要
国 語	『国語』(古文・漢文含む)(必須)	5 教科 6 科目	1. 地歴・公民で2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用します。 2. 理科2科目受験の場合は「生物」を第1解答科目としてください。 3. 数学・理科合わせて4科目受験した場合は、生物を除いた3科目のうち高得点の2科目を採用します。
地 歴 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理, 政治・経済』から1科目		
数 学	『数学・数学A』『数学・数学B』から最大2科目 「物理」「化学」から最大1科目 合計2科目		
理 科	「生物」(必須)		
外国語	『英語』(リスニングを含む)(必須)		

(注)『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。  
また、理科2科目受験者で「生物I」を第1解答科目としない場合も出願資格がありません。

□ 個別学力検査(第2次試験)の出題科目等

科 目	時 間	備 考
論 文	120分	保健・医療・福祉の分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。

□ 配点・審査基準および合否判定基準

最終合否判定

次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点を審査基準とします。合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。ただし、個別学力検査(第2次試験)の評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

試験区分 \ 教科	国 語 [200]	地歴・公民 [100]	数 学 [100]	理 科 [100]	外国語 [250]	論 文	合計点
大学入試センター試験	200	100	100 または 100+100	100+100 または 100	300		900
個別学力検査(第2次試験)						300	300
合 計	200	100	100 または 200	200 または 100	300	300	1,200

(注1)教科の[ ]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2)大学入試センター試験配点換算方法

外国語(英語):[筆記(200点満点)+リスニング(50点満点)]×1.2倍=300点

# 特別選抜

## 募集人員

(単位：人)

学部・学科・学系 選抜区分	国際総合科学部		国際総合科学科		医学部
	国際教養学系	国際都市学系	経営科学系	理学系	看護学科
推薦入試【指定校制】	30	25	50	42	30
推薦入試【公募制】	10	5	10	10	-
A O 入 試	15	15	10	8	-
海外帰国生入試	若干名	若干名	若干名	若干名	-
外国人留学生入試	若干名	若干名	若干名	若干名	-
社会人入試	若干名	若干名	若干名	若干名	-

(注)各特別選抜において志願者数が募集人員に満たない場合および各選抜の合否判定基準において受験者が一定の水準を満たさない場合は、合格者数が募集人員に満たないことがあります。

## 英語資格

各特別選抜における、英語資格にかかわる出願要件は以下のとおりです。  
出願時に、下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出する必要があります。

推薦入試【公募制】においては、英語資格は必要ありません。

選抜区分		試験の種類	TOEFL-PBT (TOEFL-iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	実用英語技能 検定(英検)
推薦入試 【指定校制】	国際教養学系		417点(35点)	400点	500点	準2級
	国際都市学系		417点(35点)	400点	500点	準2級
	経営科学系		要提出(スコア・級不問)			
	理学系		必須ではないが、何らかのスコア・級の提出が望ましい			
	看護学科		要提出(スコア・級不問)			
A O 入 試	国際教養学系		460点(48点)	500点	600点	2級
	国際都市学系		460点(48点)	500点	600点	2級
	経営科学系		460点(48点)	500点	600点	2級
	理学系		417点(35点)	400点	500点	準2級
海外帰国生入試	国際教養学系		500点(61点)	600点	700点	準1級
	国際都市学系		500点(61点)	600点	700点	準1級
	経営科学系		500点(61点)	600点	700点	準1級
	理学系		460点(48点)	500点	600点	2級
外国人留学生入試	国際教養学系		500点(61点)	600点	700点	準1級
	国際都市学系		500点(61点)	600点	700点	準1級
	経営科学系		460点(48点)	500点	600点	2級
	理学系		460点(48点)	500点	600点	2級
社会人入試	国際教養学系		500点(61点)	600点		準1級
	国際都市学系		500点(61点)	600点		準1級
	経営科学系		500点(61点)	600点		準1級
	理学系		500点(61点)	600点		準1級

## 推薦入試【指定校制】

## □ 募集人員

(単位：人)

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	30
		国際都市学系	25
		経営科学系	50
		理学系	42
医学部	看護学科		30

## □ 日程

出願期間【郵送必着】	選考日	合格発表日	入学手続日
平成 24 年 11 月 1 日(木) ~ 11 月 6 日(火)	平成 24 年 11 月 23 日(金・祝)	平成 24 年 12 月 4 日(火)	平成 24 年 12 月 26 日(水)

## □ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

## □ 出願資格・要件

次に掲げる基準をいずれも満たす者で、本学が指定する高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）の学校長が推薦する者

本学が指定する高等学校を平成 25 年 3 月に卒業見込みの者

高等学校在学中の学業成績が一定基準以上の者（詳細は指定校宛に通知します）

下記に定める資格のスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者

国際教養学系 } : TOEFL-PBT 417 点 (iBT 35 点) 以上、TOEIC 400 点以上、

国際都市学系 } GTEC for STUDENTS 500 点以上、または実用英語技能検定(英検)準 2 級以上

経営科学系 : TOEFL-PBT (iBT)、TOEIC、GTEC for STUDENTS、  
または実用英語技能検定(英検)のいずれかのスコア・級(スコア・級不問)

理学系 : 必須ではないが、何らかのスコア・級を提出することが望ましい。

看護学科 : TOEFL-PBT (iBT)、TOEIC、GTEC for STUDENTS、  
または実用英語技能検定(英検)のいずれかのスコア・級(スコア・級不問)

(TOEFL-ITP、TOEIC-IP の取り扱いについて)

志願者の在籍する高等学校が実施団体の場合のみ認められます。

## □ 評価方法

書類審査および面接

## □ その他

指定校宛に、個別に推薦依頼を行います。

推薦入試【公募制】

□ 募集人員

(単位：人)

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	10
		国際都市学系	5
		経営科学系	10
		理学系	10

□ 日程

出願期間【郵送必着】	選考日	合格発表日	入学手続き日
平成 25 年 1 月 15 日(火) ~ 1 月 25 日(金)	大学入試センター 試験	平成 25 年 2 月 8 日(金)	平成 25 年 2 月 15 日(金)

□ 出願資格・要件

次に掲げる基準をいずれも満たす者で、出身高等学校（中等教育学校および文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ）の学校長が推薦する者

高等学校を平成 24 年 3 月に卒業した者もしくは平成 25 年 3 月に卒業見込みの者

本学への入学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者

理学系の場合、数学・C および「物理・」、「化学・」、「生物・」のうち 2 つの科目群を修得した者または修得見込みの者

平成 25 年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目をすべて受験した者

□ 選考方法

大学入試センター試験の成績および書類審査

□ 大学入試センター試験の指定教科・科目等

国際教養学系・国際都市学系・経営科学系

教科	科目	教科科目数	摘要
国語	『国語』（古文・漢文含む）（必須）	5(6)教科 7科目	理科で2科目を受験した場合は第1解答科目の成績を採用します。
地歴公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 『倫理，政治・経済』から2科目		
数学	『数学・数学A』（必須） 『数学・数学B』『工業数理基礎』『簿記・会計』 『情報関係基礎』から1科目		
理科	「理科総合A」「理科総合B」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目（必須）		
外国語	『英語』（リスニングを含む）（必須）		

## 理学系

教科	科目	教科科目数	摘要
国語	『国語』（古文・漢文含む）（必須）	5教科 7科目	地歴公民で2科目を受験した場合は第1解答科目の成績を採用します。
地歴公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理，政治・経済」から1科目		
数学	『数学・数学A』と『数学・数学B』の2科目（必須）		
理科	「物理」「化学」「生物」から2科目		
外国語	『英語』（リスニングを含む）（必須）		

（注）『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

## □ 配点・審査基準および合否判定基準

## 最終合否判定

次表の大学入試センター試験の合計点を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

応募・選考状況によっては、合格発表数が募集人員に満たない、もしくは募集人員より多くなる場合があります。

学系 \ 教科	国語 [200]	地歴・公民 [100]	数学 [100]	理科 [100]	外国語 [250]	合計点
国際教養学系 国際都市学系 経営科学系	200	2科目各100 合計200	2科目各100 合計200	100	300	1,000
理学系	200	100	2科目各100 合計200	2科目各100 合計200	300	1,000

（注1）教科の[ ]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

（注2）大学入試センター試験配点換算方法

外国語（英語）：[筆記（200点満点）＋リスニング（50点満点）] × 1.2倍 = 300点

## A O 入 試

## □ 募 集 人 員

(単位：人)

学 部	学 科	学 系	募 集 人 員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	15
		国際都市学系	15
		経営科学系	10
		理 学 系	8

## □ 日 程

出願期間【消印有効】

平成 24 年

9 月 3 日(月) ~ 9 月 5 日(水)

第 1 次選考合格発表日

第 2 次選考日

合格発表日

入学手続き日

平成 24 年

9 月 28 日(金)

平成 24 年

10 月 13 日(土)

平成 24 年

10 月 23 日(火)

平成 24 年

11 月 2 日(金)

## □ 試 験 場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

## □ 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者および平成 25 年 3 月までに卒業見込みの者

通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および平成 25 年 3 月までに修了見込みの者

学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成 25 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

## □ 出 願 要 件

次のいずれにも該当する者

横浜市立大学と国際総合科学部の理念や教育内容をよく理解し、国際総合科学部への志望理由や入学後の構想が明確で、それを実現するに十分な意欲と能力を有する者

学業、社会人経験などを通じて、さまざまな活動に積極的に取り組み、成果をあげていると自己評価できる者

本学への入学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者

下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者  
 <但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

国際教養学系 } : TOEFL-PBT 460 点 (iBT 48 点) 以上、TOEIC 500 点以上、  
 国際都市学系 } GTEC for STUDENTS 600 点以上、または実用英語技能検定 (英検) 2 級以上  
 経営科学系 }

理 学 系 : TOEFL-PBT 417 点 (iBT 35 点) 以上、TOEIC 400 点以上、  
 GTEC for STUDENTS 500 点以上、または実用英語技能検定 (英検) 準 2 級以上

□ 選考方法

	備 考
第 1 次 選 考	出願書類審査 プレゼンテーション(発表)概要 1 「これまでの活動や取り組みで自己評価できるもの」 プレゼンテーション(発表)概要 2 「志望理由・入学後の目標」 TOEFL・TOEIC・GTEC for STUDENTS・英検の成績証明書 調査書 等
第 2 次 選 考	面接審査 プレゼンテーション (発表) 質疑 等
合格者の決定	出願書類により第1次選考を行い、第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。 第2次選考は、書類審査の評価と面接の評価を総合評価して合格者を決定します。

※ 優遇措置 (理学系のみ)

「全国物理コンテスト第1チャレンジ」、「全国高校化学グランプリ (一次選考)」、または「日本生物学オリンピック予選」の通過者は、第1次選考 (書類審査) の評価にかかわらず、第2次選考 (面接審査) に進むことができます。

配 点

区 分	配 点	
第 1 次 選 考	70 点	プレゼンテーション(発表)概要 1 プレゼンテーション(発表)概要 2
	30 点	英語資格の級・スコア 高等学校の調査書等
第 2 次 選 考	面接審査 <100 点>	

特別選抜

海外帰国生入試

□ 募集人員

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	若干名
		国際都市学系	若干名
		経営科学系	若干名
		理学系	若干名

□ 日程

出願期間【消印有効】	選考日	合格発表日	入学手続き日
平成 24 年 9 月 10 日(月) ~ 9 月 12 日(水)	平成 24 年 10 月 6 日(土)	平成 24 年 10 月 23 日(火)	平成 24 年 11 月 2 日(金)

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

次の①および②のいずれにも該当する者

日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、外国で学校教育を受けたことがある者のうち、次のア～ウのいずれかに該当する者

外国に設置されている教育機関であっても日本の教育制度に基づく在外教育施設を除く

ア 外国において、学校教育における 12 年の課程のうち、最終学年を含む課程に 2 年以上継続して在学し、2011 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までに卒業(修了)した者、もしくは卒業(修了)見込みの者

イ 2011 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までに、日本国内の高等学校等を卒業した者または卒業見込みの者のうち、中・高等学校を通じて 3 年以上外国の学校で教育を受け、かつ、日本国内の高等学校等の在籍期間が 2 年未満の者

ウ 外国において、国際バカロレア事務局から、2011 年または 2012 年に国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) を授与された者で、2013 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者 (1995 年 4 月 1 日以前に生まれた者)

下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者

<但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

国際教養学系 : TOEFL-PBT 500 点 (iBT 61 点) 以上、TOEIC 600 点以上、  
 国際都市学系 : GTEC for STUDENTS 700 点以上、または実用英語技能検定(英検)準 1 級以上  
 経営科学系

理学系 : TOEFL-PBT 460 点 (iBT 48 点) 以上、TOEIC 500 点以上、  
 GTEC for STUDENTS 600 点以上、または実用英語技能検定(英検) 2 級以上

特別選抜

## □ 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
国際都市学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
経営科学系	小論文	社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理学系	小論文	自然科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

## □ 合否判定基準

小論文(配点 100 点)、面接(配点 100 点)の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

外国人留学生入試

□ 募集人員

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	若干名
		国際都市学系	若干名
		経営科学系	若干名
		理学系	若干名

□ 日程

出願期間【消印有効】	選考日	合格発表日	入学手続き日
平成 24 年 9 月 10 日(月) ~ 9 月 12 日(水)	平成 24 年 10 月 6 日(土)	平成 24 年 10 月 23 日(火)	平成 24 年 11 月 2 日(金)

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

外国人(在留資格が永住の者を除く。また、日本国籍との二重国籍者は含まない)で、次の①、②、③のいずれにも該当する者

外国において日本国以外の学校教育制度による 12 年の課程を修了し(2013 年 3 月までに修了見込みの場合を含む)その国において大学入学資格を有する者およびこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

\*「12 年の課程」に日本の学校での在学期間(外国にある日本の教育制度に準拠した学校に在籍した場合も含む)が含まれる場合は、中学・高校を通算して在学期間が 2 年以内であり、かつ卒業した高校が外国の学校(日本にある外国人学校を含む)であれば出願資格を認める。

\*準ずる者とは、外国の検定試験合格者、外国人を対象とする準備教育課程の修了者、日本国内に設置された外国の教育施設の修了者

文部科学大臣が指定した者(国際バカロレア取得者、独アビトゥア取得者、仏バカロレア取得者)および国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程の修了者で、2013 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者

その他、本学において上記と同等の学力を有すると認められた者

2011 年 11 月または 2012 年 6 月に実施された日本留学試験(独立行政法人日本学生支援機構)を受験し、次の成績以上の者(1 回の試験において、下表の要件を満たしていること)

学系	受験科目	必要成績
国際教養学系 国際都市学系 経営科学系	日本語(聴解・聴読解、読解、記述の合計)	270 点(60%)
	数学(コース 1)	120 点(60%)
	総合科目	120 点(60%)
理学系	日本語(聴解・聴読解、読解、記述の合計)	270 点(60%)
	数学(コース 2)	120 点(60%)
	理科(物理・化学・生物から 2 科目合計)	120 点(60%)

特別選抜

下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者  
 <但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

国際教養学系 } : TOEFL-PBT 500 点 ( iBT 61 点 ) 以上、TOEIC 600 点以上、  
 国際都市学系 } GTEC for STUDENTS 700 点以上、または実用英語技能検定 ( 英検 ) 準 1 級以上  
 経営科学系 } : TOEFL-PBT 460 点 ( iBT 48 点 ) 以上、TOEIC 500 点以上、  
 理学系 } GTEC for STUDENTS 600 点以上、または実用英語技能検定 ( 英検 ) 2 級以上  
ただし、英語を教授言語とする学校の出身者は不要。

□ 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題 ( 英文を含む ) を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
国際都市学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題 ( 英文を含む ) を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
経営科学系	小論文	社会科学分野に関する課題 ( 英文を含む ) を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理学系	小論文	自然科学分野に関する課題 ( 英文を含む ) を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

□ 合否判定基準

小論文 ( 配点 100 点 )、面接 ( 配点 100 点 ) の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

社会人入試

□ 募集人員

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	若干名
		国際都市学系	若干名
		経営科学系	若干名
		理学系	若干名

□ 日程

出願期間【消印有効】	選考日	合格発表日	入学手続日
平成 24 年 9 月 10 日(月) ~ 9 月 12 日(水)	平成 24 年 10 月 6 日(土)	平成 24 年 10 月 23 日(火)	平成 24 年 11 月 2 日(金)

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

次の①および②のいずれにも該当する者(ただし、外国籍の者については、在留資格が永住の者に限る)

平成 25 (2013) 年 4 月 1 日までに満 25 歳に達する者 (1988 年 4 月 1 日以前に生まれた者) のうち、次のア~ウのいずれかに該当する者

ア 高等学校 (中等教育学校を含む。以下同じ) を卒業した者

イ 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者

ウ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者

<但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

TOEFL-PBT 500 点 (iBT61 点) 以上、TOEIC 600 点以上、  
または実用英語技能検定 (英検) 準 1 級以上

□ 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
国際都市学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
経営科学系	小論文	社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理学系	小論文	自然科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

□ 合否判定基準

小論文(配点 100 点)、面接(配点 100 点)の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

# 2012年度 入試結果

## 国際総合科学部

(女子) 現役 は内数

入試区分	学系	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選抜合格者数	受験者数	合格者数 追加合格者数を含む	追加合格者数	実質倍率	入学者数
一般 〔前期日程〕	国際教養学系	140	758 (487) 642	5.4	-	602	335 (226) 291	0	1.8	192 (136) 170
	経営科学系	240	1,030 (385) 736	4.3	-	865	367 (158) 281	0	2.4	229 (107) 177
	理学系	75	273 (117) 187	3.6	-	255	154 (69) 100	0	1.7	115 (57) 76
	一般計	455	2,061 (989) 1,565	4.5	-	1,722	856 (453) 672	0	2.0	536 (300) 423
推薦 〔指定校制〕	国際教養学系	40	40 (36) 40	1.0	-	40	40 (36) 40	-	1.0	40 (36) 40
	経営科学系	70	64 (47) 64	0.9	-	64	64 (47) 64	-	1.0	64 (47) 64
	理学系	35	38 (24) 38	1.1	-	38	38 (24) 38	-	1.0	38 (24) 38
	推薦計	145	142 (107) 142	1.0	-	142	142 (107) 142	-	1.0	142 (107) 142
AO	国際教養学系	30	112 (86) 98	3.7	66	61	31 (28) 27	-	2.0	30 (27) 27
	経営科学系	10	29 (15) 25	2.9	20	17	12 (7) 9	-	1.4	11 (7) 9
	理学系	10	41 (23) 31	4.1	22	18	11 (7) 11	-	1.6	11 (7) 11
	AO計	50	182 (124) 154	3.6	108	96	54 (42) 47	-	1.8	52 (41) 47
海外帰国生	国際教養学系	若干名	29 (14) -	-	-	18	10 (5) -	-	1.8	6 (2) -
	経営科学系	若干名	12 (5) -	-	-	6	6 (1) -	-	1.0	1 (0) -
	理学系	若干名	7 (2) -	-	-	5	3 (1) -	-	1.7	2 (1) -
	帰国生計	若干名	48 (21) -	-	-	29	19 (7) -	-	1.5	9 (3) -
外国人留学生	国際教養学系	若干名	4 (2) -	-	-	4	3 (1) -	-	1.3	1 (1) -
	経営科学系	若干名	10 (5) -	-	-	10	7 (2) -	-	1.4	6 (2) -
	理学系	若干名	7 (4) -	-	-	5	3 (3) -	-	1.7	1 (1) -
	留学生計	若干名	21 (11) -	-	-	19	13 (6) -	-	1.5	8 (4) -
社会人	国際教養学系	若干名	1 (1) 0	-	-	1	1 (1) 0	-	1.0	0 (-) -
	経営科学系	若干名	1 (1) 0	-	-	1	1 (1) 0	-	1.0	1 (1) 0
	理学系	若干名	0 (-) -	-	-	-	- (-) -	-	-	- (-) -
	社会人計	若干名	2 (2) 0	-	-	2	2 (2) 0	-	1.0	1 (1) 0
合計	国際教養学系	210	944 (626) 780	4.5	66	726	420 (297) 358	0	1.7	269 (202) 237
	経営科学系	320	1,146 (458) 825	3.6	20	963	457 (216) 354	0	2.1	312 (164) 250
	理学系	120	366 (170) 256	3.1	22	321	209 (104) 149	0	1.5	167 (90) 125
	学部計	650	2,456 (1,254) 1,861	3.8	108	2,010	1,086 (617) 861	0	1.9	748 (456) 612

## 医学部

(女子) 現役 は内数

入試区分	学科	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選抜合格者数	受験者数	合格者数 追加合格者数を含む	追加合格者数	実質倍率	入学者数
一般 〔前期日程〕	医学科	90	396 (162) 186	4.4	297	282	98 (37) 53	8	2.9	90 (35) 48
	看護学科	80	406 (375) 307	5.1	-	375	101 (97) 79	6	3.7	79 (76) 61
	一般計	170	802 (537) 493	4.7	297	657	199 (134) 132	14	3.3	169 (111) 109
推薦 〔指定校制〕	看護学科	20	22 (22) 22	1.1	-	22	22 (22) 22	-	1.0	22 (22) 22
	推薦計	20	22 (22) 22	1.1	-	22	22 (22) 22	-	1.0	22 (22) 22
合計	医学科	90	396 (162) 186	4.4	297	282	98 (37) 53	8	2.9	90 (35) 48
	看護学科	100	428 (397) 329	4.3	-	397	123 (119) 101	6	3.2	101 (98) 83
	学部計	190	824 (559) 515	4.3	297	679	221 (156) 154	14	3.1	191 (133) 131

## 2012年度 一般選抜 合格者平均点・最低点

学部	学系・学科	募集人員	合格者数	配点			合格者平均点		合格最低点
				センター試験	2次試験	合計	センター試験	2次試験	
国際総合科学部	国際教養学系	140	335	700	300	1,000	579.7	125.1	647.2
	経営科学系	240	367	700	300	1,000	575.5	175.2	714.4
	理学系	75	154	700	400	1,100	537.1	250.8	707.0
医学部	医学科	90	90	900	1,300	2,200	796.0	856.7	1562.8
	看護学科	80	95	500	250	750	393.0	162.4	530.8

## 大学案内・募集要項（願書）の入手方法

### テレメールで請求する



インターネットか自動音声応答電話でご請求ください。

テレメール

テレメールにアクセスしてください



パソコン・ケータイ・スマホなら

<http://telemail.jp>



自動音声応答電話なら

**IP電話** 050-8601-0101 (24時間受付)

一般電話回線からの通話料金は全国どこからでも3分ごとに約11円です。住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

ご希望の資料の資料請求番号を入力してください

資料名	資料請求番号	送料(予定)	発送開始予定
大学案内	562622	390円	7月上旬
AO入試学生募集要項	582612	200円	7月上旬
公募制推薦入試学生募集要項	546392	140円	10月下旬
一般選抜学生募集要項(国際総合科学部)	562282	200円	
一般選抜学生募集要項(医学部医学科)	582282	200円	
一般選抜学生募集要項(医学部看護学科)	582482	140円	

ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください

テレメールをご利用済みの方はお届け先の登録は不要です。

資料は2～3日後に届きます

発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

予約受付の資料を除き、おおむね2～3日後に資料が届きます。ただし受付時間や地域配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。また発送開始予定日が変わる可能性もあります。なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

送料はお届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後1週間以内に表示料金をお支払いください。支払方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い(携帯電話通話料金と一緒にのお支払い)」がご利用になります。なお、支払いに際しての手数料が別途必要になります(手数料は支払方法によって異なります)。送料は資料の重量により変更になる場合がありますので、予めご了承ください

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問合せ・お申し出先

テレメールカスタマーセンター

**IP電話** 050-8601-0102(受付時間 9:30～18:00) テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが運営しています。

### 「モバっちょ」で請求する

特別選抜募集要項の取扱はありません。

ケータイ・スマホの場合

ケータイ・スマホで右のバーコードを読み取り、モバイル用の専用資料請求画面にアクセスしてください。

「モバっちょ」では、資料請求料金を携帯電話の通話料と一緒に支払っていただけますので、郵便局等に払い込みに行く必要がありません。

料金は送料・手数料込です。

大学案内:250円、各種学生募集要項:250円

携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によってご利用できない場合があります。

パソコンの場合(クレジットカード決済のみとなりますが同じ料金で請求できます)

下記URLにアクセスしてください。



【URL】 <http://djc-mb.jp/yokohama-cu3/>

「モバっちょ」での請求方法についてのお問合せ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005(平日 10:00～18:00)



ケータイ・スマホで

横浜市立大学の各種情報が見られます！

「がんばれ国公立大学受験生!!」サイトから、入試をはじめとする本学の情報を見ることができます。メールマガジンの登録をすれば、本学からのお知らせが自動的に配信されます。情報サイトの利用料もメールマガジンの登録料も無料(通信料は除く)です。ぜひご利用ください！

<http://ycu.jp/>



# ACCESS MAP

交通のご案内

## 舞岡キャンパス (木原生物学研究所)



- 木原生物学研究所
- 大学院  
生命ナノシステム科学研究科  
生命環境システム科学専攻  
※一部は金沢八景キャンパス



〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12  
● 045-820-1900  
● 市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

## 金沢八景キャンパス



- 国際総合科学部 (国際総合科学科)
- 医学部 (医学科・看護学科) ※1年次
- 大学院  
都市社会文化研究科  
国際マネジメント研究科  
生命ナノシステム科学研究科  
物質システム科学専攻  
生命環境システム科学専攻  
※一部は舞岡キャンパス

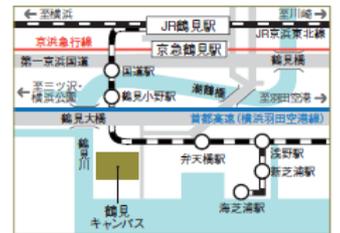


〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2  
● 045-787-2311  
● 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分  
● シーサイドライン「金沢八景駅」より徒歩7分

## 鶴見キャンパス



- 大学院  
生命医学研究科  
生命医学専攻



〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29  
● 045-508-7201~7203  
● JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行線「京急鶴見駅」前バス乗り場7番乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分、理研・市大大学院前」下車  
● JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分

## 附属市民総合医療センター



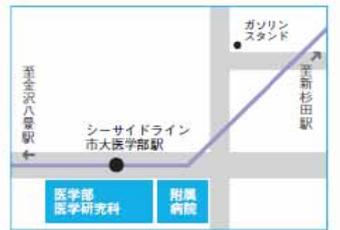
〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57  
● 045-261-5656  
● 京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分  
● 市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩4分  
● 市営バス「浦舟町」下車徒歩1分

## 福浦キャンパス



- 医学部 (医学科・看護学科)
- 大学院  
医学研究科  
医科学専攻  
看護学専攻

## 附属病院



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9  
● 福浦キャンパス 045-787-2511  
● 附属病院 045-787-2800  
● シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分



主要駅から京浜急行  
「金沢八景駅」までの所要時間



横浜市立大学  
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2 tel.045-787-2055 fax.045-787-2057  
www.yokohama-cu.ac.jp